

(発行) 三木市社会福祉協議会
ボランティア活動プラザみき
〒673-0403
三木市末広 1-6-46
(市民活動センター内)
TEL 0794-83-0090
Fax 0794-82-6666
e-Mail mvsc@miki.or.jp

マガジン

ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

ぼらぶら 月間情報

2021
6月

- : プラザ催しなど
- : ボランティア・市民活動団体催しなど
- ▲ : 市民活動センターで行われる上記団体催し
- : ぼらぶら 休業日

日	曜日	催し物
1	火	市民活動センター 臨時閉館
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	市民活動センター 休館日
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	ふれあいサロン活動者研修会 ● コミュニケーションマージャン体験会 ▲
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
26	土	
27	日	
28	月	BANBAN しゃべろう会 ■
29	火	
30	水	

緊急事態宣言中の ボランティア活動プラザみきでの業務について お知らせ

緊急事態宣言の延長に伴い、市民活動センターは6月20日(日)まで閉館となります。新型コロナウイルス感染拡大により、月間情報に記載している内容が中止・変更になる可能性があります。

ボランティア活動プラザみきは【月曜日から土曜日(祝日・第3木曜日を除く) 8:30~17:15】にて業務を行っております。ボランティア保険の加入受付や、助成金・活動に関するご相談などは承っております。

お気軽にお越しください。

■ 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

2021年度 みきボランティア活動記章 贈呈者募集中!

この記章贈呈は、市民が継続した善行活動に対し感謝するとともに、これからも活動が継続する励みとなる記章として三木市社会福祉協議会が贈呈します。

団体・グループの構成員、企業・事業所の職員も含まれます。

■ 贈呈対象となる方と応募できる記章は！
次の3つの項目すべてに☑チェックが入れば応募できます。同一記章贈呈は1回のみとなっています。

☐ 行っている活動が広く一般社会の利益となる公益活動である。

☐ 自分自身の活動歴が5年以上ある。

☐ 現在もそれらの活動を継続している。



※ 応募用紙は、各公民館、交流センター、市民活動センターにあります。

■ 応募受付期間：5月8日④～6月19日④

○ 応募受付期間が1週間延長され、**6月19日**までとなりました。

■ 申込先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

失語症者とその家族の会 BANBANしゃべろう会

BANBANしゃべろう会は、失語症の方とその家族が情報交換を行いながら交流し、気軽に集える場です。お気軽にお越しください。

■ 日 時：毎月第2・4月曜日 14:00~16:00
今月は6月28日④となっています。

■ 会 場：三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘

■ 参加費：100円

■ 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090



寄付者募集!! 共感ファンド

共感ファンドは、集められた寄付金を資金とし、「誰もが安心して自分らしく暮らすことのできるまち」にしていく仕組みです。

みなさまが共感できるプロジェクトを寄付先として選択できるのが特徴の一つ。誰かの活動に共感し、寄付というアクションを起こすことで、あなたも地域活動に参加しませんか？

寄付募集期間は、**2021年6月1日~8月31日**まで。
あなたが共感できるプロジェクトに**応援**を!!

コロナ禍だから身近な三木の自然をもっとモット知ってもらい、増田ふるさと公園に行ってみたくなる卓上カレンダー兼ポストカードを作成したい!

特定非営利活動法人
三木自然愛好研究会

プロジェクトの目的
「増田ふるさと公園」に生息する動植物や風景を用いた卓上カレンダー兼ポストカードを製作します。わずか0.7haという小さな里山公園ですが、絶滅危惧種を含む多くの動植物が生息していて訪れるたびに新しい発見があります。カレンダーでこの公園の魅力を市民の皆さんに届けたいと思っています。また、公開かんさつ会の参加者に植物のネームプレートをつけてもらおうと思っています。そうすることで貴重種への関心が高まり、この公園を大切にしようとする心が育まれると考えます。

目標金額を達成したら、こんなことに使いたい!
増田ふるさと公園の魅力的な動植物の写真を用いて卓上カレンダー兼ポストカード製作費とネームプレートの購入経費に使わせていただきます。



目標金額
20万円

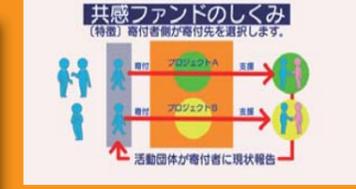
団体プロフィール
1997年ふるさと公園の貴重な自然を守りたいと願う者たちが集まって発足。2010年NPO法人化し、現在に至る。「増田ふるさと公園」を拠点に活動し、公園の管理や活用を担っています。また、ギフチョウやヤシジミオモダカなどの貴重種の保全や増殖に取り組み、「親子川がき教室」などの自然体験の場を提供する事業も行っています。

「共感ファンド」の運営資金にご支援を!

三木市社会福祉協議会

プロジェクトの目的
共感ファンドは、寄付を募るだけでなく、各プロジェクトを通して地域の課題を多くの方々と共有します。そのため、ファンドやプロジェクトの啓発に力を入れたい、寄付という活動をしてくださる方々の利便性を向上させたい、という思いで計画しました。

目標金額を達成したら、こんなことに使いたい!
・啓発パンフレットや動画の作成、寄付金管理システムの運営に使わせていただきます。



目標金額
40万円

団体プロフィール
住民主体と住民自治による福祉のまちづくりを推進する非営利の民間団体です。市民の皆さまと一緒に考え、応援し、手助けをし、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を基本目標に取り組んでいます。

プロジェクト実施団体やプロジェクトの情報、寄付の方法などは共感ファンドの **ホームページ** でご紹介しています。

共感ファンド 検索



誰もが気負いすることない地域社会を目指して

～多様な主体が心と力をあわせて多様性のある支援に取り組む～

◆ 不登校や引きこもりの方やその家族の支援を考える集いを開催

令和3年4月、「(仮称) さまざまな理由で地域や社会とのかかわりが難しい方やその家族の支援を考える集い」が開催されました。市内には不登校や引きこもりの方やその家族の支援に関わる市民活動団体がいくつかあります。しかし、どの団体も支援の対象となる本人やその家族とつながる機会が少ないのが現状です。共通の現状があることから、これからの支援のあり方を考えるにあたって同じ目的で活動する者同士の心あわせや力あわせが必要であると考え、今回の集いを開催することに至りました。

◆ ご本人・家族の声から見えてきたこと

集いでは、居場所づくり等を通じて生きづらさを抱える若者の自立支援を目的に活動するボランティアグループ「アクティブ美輝」、子どもの不登校や引きこもりに悩む親同士がグループカウンセリングを通じて悩みや生きづらさを解決していく「三木イキイキ親の会」、さまざまな理由で学校や地域、社会との関わりづらさを抱えている子どもや親の支援を目的に活動するフリースペース「S-BASE」の3団体が顔を合わせました。

情報交換をする中で、「不登校の学生が昼間に出歩くことに対して、本人が後ろめたさを感じている。」「在学中は学級や教員によるサポートがあるが、卒業後はない。就職しても職場に馴染むことができず、引きこもりがちになるケースがある。」など、ご本人や家族の様子から、偏見や差別を生む社会的風土がご本人やその家族の生きづらさを助長していること、さらに、支援団体とつながりづらい要因の一つとなっていることが見えてきました。不登校経験がある参加者は、自分を変えることができるのは他人ではなく自分であるということを実体験から語っていただきました。本人が変わりたいと思う時期を大切にすること、本人が変わりたいと感じる機会づくりが必要であること、また、同時に本人にとって身近な家族等へのサポートも欠かすことができないことを共有しました。



不登校や引きこもりになる原因や背景、ご本人やその家族が関わりを求める時期や関わる方法もさまざまであり、その人その人に応じた支援のあり方が重要となることが見えてきたことから、「多様性」をキーワードにこれからの活動を考えていくことになりました。

◆ 多様な主体による心あわせと力をあわせ

共通の課題に向き合っている者同士が互いの立場を認め合い、心と力をあわせて課題解決に向けて取り組むことで、より大きな力を発揮することが期待できます。三木市としても引きこもりや就労が難しい方への自立に向けたサポートをする窓口（福祉課：生活支援係）を設置しており、行政との連携・協働も見据えながら、多様な主体が心と力をあわせる機会づくりに向けてこれからも集いを重ねていくことになりました。地域や社会との関わりが難しく、生きづらさを抱えているご本人やその家族が、後ろめたさや気負いすることのない地域社会の実現をめざし、多様性のある支援として今できる取組みを企画・実施していきます。

ボラ・プラみきの
アクション・レポート
(22)
～市民のチカラ～

助成金情報

助成金等名称 〔申請等期日・期間〕	助成内容	申請書の 配布場所
令和3年度 花のあるまちづくり 活動促進事業 〔応募期間〕 5月6日～6月30日	〔目的〕「花のあるまちづくり活動」を促進し、豊かな自然と調和した花のある景観づくりを推進する 〔対象〕公共施設において、花植え・緑化活動を行う団体 〔補助金額〕 上限 5万円 〔問合せ先〕 三木市 都市整備部 都市政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所各担当課 ・市立公民館 ・市民活動センター ・市ホームページからダウンロード https://www.city.miki.lg.jp
令和3年度 子育て支援団体 活動促進事業補助金 〔受付期間〕 5月6日～予算上限まで	〔目的〕子育てが楽しいまちづくりを推進する 〔対象〕児童及びその保護者を対象に子育て支援活動を行う団体 〔補助金額〕 上限 10万円 〔問合せ先〕 三木市 健康福祉部 子育て支援課	
令和3年度 市民活動支援事業 (立上げ支援・協働型) 〔受付期間〕 5月6日～6月30日	〔目的〕市民の自主的な活動の育成を支援し、いきいきとしたまちづくりを実現する 〔対象〕(立上げ支援型) 設立2年未満の団体(協働型) 市と共催事業を行う団体 〔補助金額〕 (立上げ支援型) 1回目 10万円、2回目～5万円(協働型) 支援対象経費総額の半額 〔問合せ先〕 三木市 市民生活部 市民協働課	
<p>市民活動支援事業のうち、「経過措置」は終了しています。 「立上げ支援」の対象とならない設立3年以上の団体に対する市民活動支援金の交付はありません。</p>		

自然環境
団体さんは
要チェック

子育て支援
団体さんは
必見!

新設立の
団体さんは
ぜひ!

ご注意ください!

Vol.8

セルフヘルプグループって なに?

「つながりハンドブック」ができました!

「セルフヘルプグループ」とは、病気、障がい、依存、嗜好など、悩みや生きづらさを持つ人や家族が、同じような状況の人・家族と出会い支援しあうグループ



このコラムでは、昨年11月号から7回にわたり、セルフヘルプグループをご紹介してきました。三木市にはその他にも、様々な生きづらさのある本人や家族のグループがいくつもあります。しかし、必要な人にグループの存在や活動が十分に知られておらず、当事者が同じ立場の人と出会い、つながるための情報や機会を得にくいのが現状でした。そこで、ボランティア活動プラザみき、三木市障害者総合支援センターはばたきの丘、いくつかのセルフヘルプグループが協力し、各グループの活動情報をまとめた冊子の作成に取りかかり、このたびつながりハンドブック～セルフヘルプグループ活動情報集～が完成しました!

このハンドブックには、主に三木市内で活動する16グループの活動情報が掲載されています。作成にあたってはボランティア活動プラザみき、はばたきの丘のスタッフがグループにお邪魔し、活動内容や大切にしていること、メンバーの声などを出し合いました。グループが作成した案内チラシや写真なども盛り込まれ、活動の特色や雰囲気が感じられるものになっています。グループメンバーの「手にとってくださる方が仲間に出会えますように」、「悩みや生きづらさが少しでも軽くなりますように」という願いや、「当事者として誰かを支えられたら…」という思いが詰まった一冊になりました。



6月下旬より ボランティア・市民活動団体や関連事業所・病院、保育施設や学校、専門職養成機関などに配布する予定です。
ご希望の方は、ボランティア活動プラザみき (TEL83-0090)、はばたきの丘 (TEL68-9005) までお気軽にお問合せください。

※つながりハンドブックは、「赤い羽根共同募金」の配分金で発行しています。

